

第11回（2017年）産学交流企画活動内容報告

島根県技術士会青年部会

日時 2017/12/9(土) 10時半～17時
場所 島根大学総合理工学部3号館 多目的ホール

概要

青年部会の活動として、島根大学・松江工業高等専門学校との産学交流を企画・実施しました。本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な以下のような能力を学生に身につけさせることを目的としています。

- ・理論的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力
→班での討論、意見集約手法の実践（ブレインストーミング）、プレゼンテーション
- ・種々の科学・技術・情報を利用して社会のニーズを解決するデザイン能力
→制約条件下での課題解決
- ・与えられた条件下で計画的に仕事を進め、まとめる管理能力
→班でのとりまとめ、限られた時間での成果達成

参加者

参加者は島根大学3年生、松江高専5年生、技術士を班長として、参加者を5班に分けて企画を進めていきました。今年度は島根大学地域未来研究センター、松江高専だんだん技術士会（技術士の高専OB会）の共催も得て行いました。

【参加者内訳】

技術士	19名
島根大学3年生（総合理工学部）	10名
松江高専5年生（環境・建設工学科）	4名
先生（島根大学、松江高専）	4名
合計	37名

企画内容

午前中は課題解決手法の講義と班に分かれての社会人への相談タイム、午後からは『島根のイッピンをメジャーにするには？』というテーマで班別に課題解決を行いました。

・第1部（社会人への相談タイム）

学生の社会人への疑問・質問に技術士が答える。当日は事前に用意した質問に技術士が回答するという形で進めていきました。
※学生にも「島根（地元）で働きたい？働きたくない？それはなぜ？」という逆質問もしてみました。

・第2部（課題解決）

「島根のイッピンをメジャーにするには？」
各班で考えた全国にオススメしたい「島根のイッピン」をどうやってメジャーにするか検討する。最終的にはiPadを使って各班5分間ずつプレゼンしてもらう。

※午前中の課題解決手法の講義を踏まえてわかりやすく！

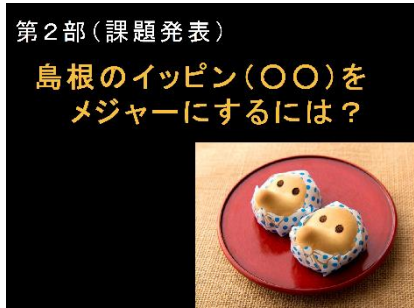


photo1 今年度の課題（テーマ）

各班の課題解決案

前述の課題を解決するため、各班は2時間半の制限時間内で企画案の取りまとめ、プレゼン資料の作成を行い、プレゼンに望みました。

基本的には、プレゼン資料作成や発表も学生が担当し、技術士は課題解決の方法を指導する等の役割を担いました。

【課題解決案】

- 1 班 ポポー (美郷町)
- 2 班 石見神楽 (県西部地区)
- 3 班 しまねっこ (島根県)
- 4 班 八重垣神社「鏡の池」 (松江市)
- 5 班 島根の吉田君 (島根県)

【審査結果】

- 参加者が選ぶ「聴講賞」 … 1 班 (最優秀)
- 先生方が選ぶ「優秀賞」 … 5 班
- アイデア最高「アイデア賞」 … 4 班



photo2 iPad(KeyNote)でプレゼン



photo3 表彰では豪華賞品も

感想

課題解決では、午前中に課題解決手法を講義したうえで、課題解決に臨んだということで、どの班もわかりやすいプレゼンが出来ていると感じました。また、「メジャーにする」という広報媒体については、大部分の班で『YouTube』が提案されるなど時代に敏感な学生の考えも知ることが出来ました。

午前中に行った「社会人への相談タイム」は昼休みまで話が続く班もあり、少しでも学生の不安が解消されたかなと思いました。また、技術士からの逆質問「島根で働きたい・働きたくない」の学生からの回答は、技術士にも参考になったと思います。

その他当日の様子



photo4 社会人への相談タイム



photo5 課題解決の様子



photo6 参加者全員集合